

復興後の地域社会における伴走型・発展的評価の可能性

～復興プロセスで見られた寄り添い型・

伴走型支援の実績から考える～

日時

平成31年2月23日(土)

13:00～16:00 (12:30 開場)

会場

TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
ホール8B(仙台市青葉区花京院1-2-15 ソラプラザ 8F)

東日本大震災で被災した地域の多くで住居の再建が進み、団地単位のコミュニティ形成も進みつつあります。住民どうしの見守り・助け合いといった、震災前には見られなかった住民主体の新しいまちづくりの動きも出てきています。

しかしながら、県内のすべての地域でこのような動きが起きているわけではありません。活動に関わる人材やリーダーの不在といった悩みを抱える地域もまた多くあります。このような地域では、当事者である住民だけが頑張るのではなく、地域に寄り添い支えていく支援者の存在が大切となってきます。

復興の歩みの中で、このような「寄り添い支援」「伴走支援」の動きが各地で見られました。今回のシンポジウムでは、地域住民の歩みに寄り添い、コミュニティづくりを支えてきた寄り添い型(伴走型)支援の経緯を振り返るとともに、災害後のように変化が激しい環境下で伴走支援者が地域を支え、確実に良くしていくための評価の仕組み「発展的評価」の考え方について学び、「復興後」の地域支援のあり方について、当日ご参加の皆さんと一緒に考えます。

定員
100名
先着順

PROGRAM

1 開会

2 事例報告

震災後の宮城県内で見られた
「寄り添い支援・伴走支援」の活動事例

- 山元復興ステーション(コミュニティ再生・自治会支援)
- 美里町社会福祉協議会(地域福祉活動の推進)

3 話題提供

「発展的評価(Developmental Evaluation)について」

[講師]

一般財団法人CSOネットワーク

代表理事 今田 克司氏

4 パネルディスカッション

～寄り添い支援・伴走支援の経験を
震災後の地域支援に活かしていくために～

《企画協力》

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム・宮城県サポートセンター支援事務所・特定非営利活動法人地星社

みやぎ地域復興ミーティング 《講師プロフィール》

今田 克司 (いまた かつじ)
 一般財団法人CSO ネットワーク 代表理事



現職ほかに日本NPOセンター副代表理事、日本評価学会理事、SDGs市民社会ネットワーク執行理事等。米国、南アフリカ含め、おもに市民社会強化の分野でNPOマネジメント歴25年。内閣府社会的インパクト評価ワーキンググループ委員、社会的インパクト評価イニシアチブ共同事務局メンバーなど、NPOに評価文化を根づかせる牽引役を果たす。

発展的評価について知りたい方はこちら



《会場案内》

TKP ガーデンシティ
 PREMIUM 仙台西口
 ホール 8B
 仙台市青葉区花京院 1-2-15
 ソララプラザ 8F



参加申込締切
2月21日(木)
 必着

問い合わせ・申込先

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム
 (担当 高田・赤間・本田)
 〒984-0065 宮城県仙台市若林区土樋254 ニューメゾン土樋201
 Tel 022-353-7550 Fax 022-397-7230
 メール info@tohokuconso.org

みやぎ地域復興ミーティング (2月23日・仙台) 参加申込書

お名前	ご所属	備考

■ 代表の方の連絡先 (携帯番号など)
 (当日の実施内容に変更があった場合等の連絡に使用します)